



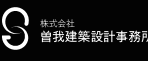
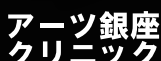
NILZZ

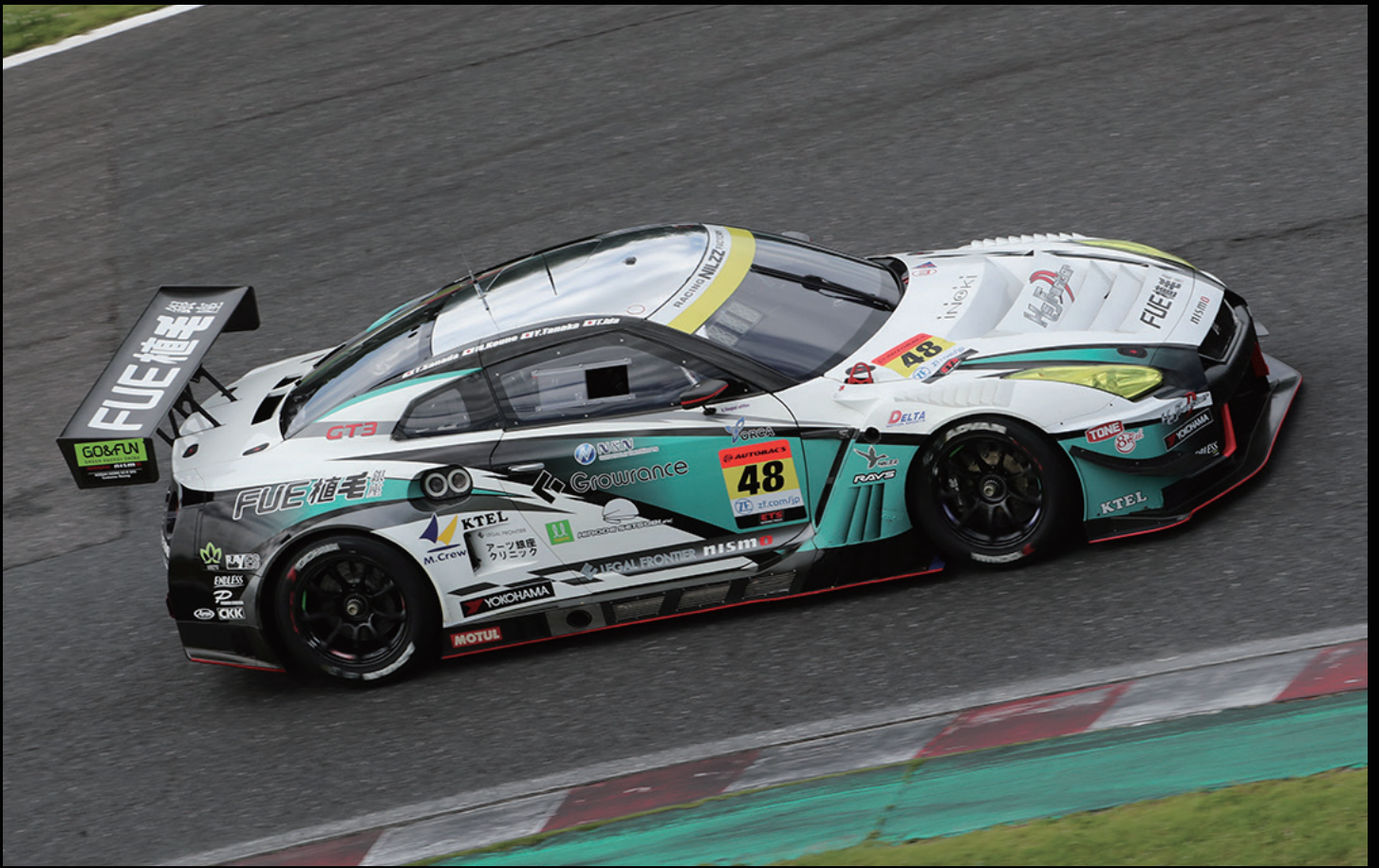
RACING FACTORY

SUZUKA GT 450km RACE

2023 AUTOBACS SUPER GT Round.3 RACE Report

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2023 GT300 クラス	公式練習	: 2'01.926 (GT300 クラス 26 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 2'01.358 (GT300 クラス B 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーブフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 25 位 (53 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 甲野将哉 / 眞田拓海		
開催地	: 鈴鹿サーキット (三重県)		
開催日	: 2023.6.3~2023.6.4		
天候	: 曇りのち晴れ (6.3) 晴れ (6.4)		
イベント動員数	: 11,000 人 (6.3) / 22,000 人 (6.4)		





SUPER GT 第3戦『SUZUKA GT 450km RACE』が三重県の鈴鹿サーキットで6月3日(土)~4日(日)に開催され、NILZZ Racing は第2戦富士大会同様、井田太陽、甲野将哉、眞田拓海の3名をエントリーした。

6月3日(土) 公式練習

金曜日の台風による大荒れの天候から一転、快晴に見舞われた鈴鹿サーキット。

9時15分から公式練習のセッションが行われ、NILZZ Racing は井田をコースインさせて、マシンやコースの確認も兼ねた連続走行を行う。

その後、甲野は昨シーズン第5戦以来、眞田はGT3車両で初の鈴鹿ということで、入念に感覚を整えるべく連続周回を行なった。

NILZZ Racing は大きなトラブルもなく、順調に公式練習のセッションでのプログラムを消化。

最後のGT300専有走行は井田が予選シミュレーションを行い、ここでチームベストとなる2分01秒926を記録。

第3戦の公式練習はGT300クラス26位。

その後のFCY訓練、サーキットサファリの時間も最大限走行し、午後からの予選に向けて準備を整えた。

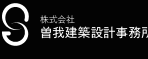
6月3日(土) 公式予選

午後に行われた公式予選。NILZZ Racing は今回はBグループでの出走となった。

15時43分から行われた予選Q1 Bグループのセッション。

NILZZ Racing のアタックドライバーは井田が担当した。

2週のウォーミングアップ後、タイムアタックに突入。計測4周目に自身のベストとなる2分01秒300を記録する。





しかし、このラップが『公式予選中黄旗提示区間を走行した車両の当該周回タイムは公式予選結果として採用しない。』という規則に抵触してしまい、記録から削除となってしまった。

このため、最後のアタックで記録した2分01秒358がこのセッションでの井田のベストタイムとして記録され、予選Q1 Bグループ13位と結果となった。

6月4日(日) 決勝

予選日より雲は多いが降雨の心配は無さそうな空模様で迎えた決勝。第3戦のスタートドライバーは井田が担当した。予選結果によりGT300クラス26番手からのスタートとなった井田はスタートから徐々に順位を上げつつ、周回を重ねていった。

7周目、トラブル車両がコース上に停車したため、フルコースイエロー (FCY) が導入。翌8周目にはセーフティーカー (SC) 導入に変更された。SC先導による走行が続く中、11周目走行時にピットレーン入口が解放。

NILZZ Racing は井田にピットインを指示。燃料補給を行なった。

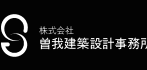
今回のレースは2回の燃料補給を伴うピットインが義務付けられ、SC中の燃料補給はカウントされない規則となっている。この給油は義務回数にカウントされないが、ピットレーン入口が解放されたタイミングで急遽ピットインを行い、義務ピットストップにおける給油時間の短縮を狙う作戦を採った。

その後SCが解除となり、GT300クラス12位まで順位を上げた井田は20周目に1回目の義務ピットストップ。

井田から真田へとドライバー交代、タイヤ交換、給油を行った。

コースに復帰した真田はロングスティントを担当。

安定したペースで自身のスティントを走破し、48周目に2回目の義務ピットストップを消化。





給油、タイヤ交換を行い、甲野に最終スティントに託した。

チェッカーを受けるべく周回を重ねていた甲野。

54 周目走行時に 130R からシケインの間で複数が絡む大クラッシュが発生。

これにより SC が導入されるが、すぐに赤旗が提示。この赤旗をもって第 3 戦は終了となった。

まずは非常に大きなクラッシュが発生しましたが、ドライバーが大事に至らずに済んだ事は幸いでした。

次戦富士大会までの間、約 2 ヶ月のインターバルがありますが、シリーズ中盤に向けて準備を充分に行い挑んでいきたい
と思います。引き続き、ご声援、ご支援の程、宜しくお願い致します。

